

消毒用エタノール綿棒「ヨシダ」

76.9～81.4vol%エタノール含浸綿棒



特徴

- グラム陽性菌・陰性菌、真菌、結核菌及びHBV・HIVを含む一部のウイルスに有効です。
- 携帯に便利です。
- 薬液使用量の無駄がありません。
- 個包装のため調製後の薬液揮発のおそれがありません。
- 開封後すぐ使用できますので、在宅医療にも適しています。

禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜(損傷皮膚及び粘膜への使用により刺激作用を有する。)



消毒用エタノール綿棒「ヨシダ」は76.9~81.4vol%エタノール液を綿棒に含浸させた製剤で、消毒用エタノール含浸綿棒作製の作業時間及びコストの削減を可能にした医療用医薬品です。

有効性

各種細菌・真菌に対する殺菌効果

消毒用エタノール綿棒「ヨシダ」について、各種細菌および真菌(酵母)に対する殺菌力試験を行った。その結果、グラム陽性菌、グラム陰性菌、酵母においては30秒で殺菌された。

供試菌株	殺菌時間
Staphylococcus aureus ATCC6538	30秒以内
Staphylococcus aureus (MRSA) CI	30秒以内
Staphylococcus aureus (MRSA) CI	30秒以内
Staphylococcus epidermidis JCM2414	30秒以内
Streptococcus pyogenes JCM5674	30秒以内
Enterococcus faecalis JCM5803	30秒以内
Enterococcus faecium JCM5804	30秒以内
Enterococcus hirae ATCC10541	30秒以内

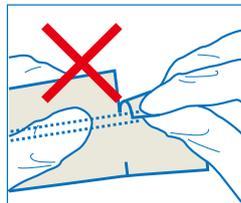
CI：臨床分離株

供試菌株	殺菌時間
Pseudomonas aeruginosa ATCC15442	30秒以内
Pseudomonas aeruginosa CI	30秒以内
Burkholderia cepacia IFO15124	30秒以内
Escherichia coli ATCC10536	30秒以内
Serratia marcescens JCM1239	30秒以内
Klebsiella pneumoniae IFO14940	30秒以内
Enterobacter cloacae JCM1232	30秒以内
Acinetobacter baumannii JCM6841	30秒以内
真菌 (酵母) Candida albicans ATCC10231	30秒以内
Candida parapsilosis JCM1785	30秒以内

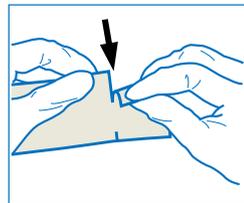
社内資料：消毒用エタノール綿棒「ヨシダ」殺菌力試験

綿棒の取扱方法

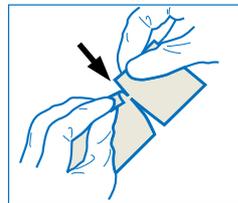
※開封後はすみやかに使用してください



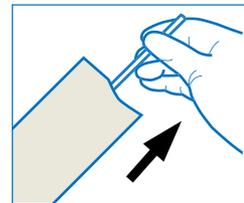
⚠️ 綿棒をアルミの上から押さえていると切れません



① 切り口の矢印に沿ってアルミを切る



② 残ったアルミを切り口の矢印に沿って切る



③ 綿棒をつまんで取り出す

外用殺菌消毒剤

薬価基準未収載

消毒用エタノール綿棒「ヨシダ」

Ethanol for disinfection cotton stick "Yoshida" ●76.9~81.4vol%エタノール含浸綿棒

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。

貯法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存
使用期限：3年(箱に記載)

日本標準商品分類番号	872615
承認番号	21600AMZ00631000
薬価収載	薬価基準未収載
販売開始	2006年2月



手指・皮膚 手術部位の皮膚 医療機器

禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜(損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。)

組成・性状

1. 組成

成分・含量	本溶液100mL中、日局エタノール83mL
担体	綿棒
含浸量	綿棒1本あたり本溶液2mL

2. 性状

本剤に含浸している液は無色透明な液で、特異なおいがある。

効能・効果

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

用法・用量

本剤をそのまま消毒部位に塗布する

使用上の注意

1. 重要な基本的注意

- 本剤が眼に入らないように注意すること。
入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。(エタノール蒸気に大量又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。)

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^①	発疹等
皮膚 ^②	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

- 投与経路:外用にのみ使用すること。
- 使用時
 - 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
 - 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので注意すること。
 - 本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。また電気メスを使用する場合は、乾燥させてから使用すること。

取扱上の注意

開封後は速やかに使用すること。

包装

規格	調剤包装単位コード	販売包装単位コード
1本入り×50	(01)04987288016021	(01)14987288016103

2015年1月改訂



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951

【製品情報サイト】 <http://www.yoshida-pharm.jp/>

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10
Tel: 03-3381-2004

③1702KK
400041
2017年2月改訂